

2021年12月期 決算説明資料

東京証券取引所市場第一部 : 4641

第2創業期

人が未来-Next Technology Frontier®

 **Alps** 株式会社 アルプス技研

■ 当社グループのコロナウイルス感染症対策について

当社グループは新型コロナウイルス感染症の再拡大に備え、在宅勤務、オフピーク通勤やTV会議、オンライン研修の活用など、お客様、従業員の安全に配慮し、事業の継続に向けて対策を推進しております。

1. お客様の要請に応じた感染症対策

- 1) お客様先の状況に応じた就業スタイルへ柔軟に対応
- 2) オンライン営業・商談の推進
- 3) 社員の感染が疑われる場合の迅速な対応（本人への状況確認や出勤停止等）

2. 当社グループの感染症対策

- 1) マスク着用、咳エチケット、手洗い・うがい、消毒液の利用を徹底
- 2) 自社ビル内のフロア往来自粛、食堂利用の原則禁止
- 3) オフィス内に飛沫防止用アクリルボード、ビニールシート等を設置

3. 勤務形態・業務の変更

- 1) 社員の在宅勤務、休暇取得の推進、オフピーク通勤の継続
- 2) イベント、懇親会、国内出張の自粛、海外出張の原則禁止
- 3) TV会議やスタジオを活用したオンライン研修と、オンライン採用の実施

4. 体調不良時の対応

- 1) 本人が発熱した場合の出勤禁止
- 2) 同居家族が発熱した場合の出勤自粛

■ 目次

1	2021年12月期決算概況.....	P4
2	グループ会社のご紹介.....	P10
3	次世代を創る施策.....	P11
4	2022年度 業績予想.....	P15
5	2022年度 配当予想.....	P16
6	新中期経営計画.....	P17
7	サステナビリティ・ESG.....	P21

■ 外部環境

- ・ワクチン接種の加速等により、経済の回復が見込まれたものの、新たな変異株の影響により、スピードは鈍化

製造業界

輸出動向

- ・回復基調にあったが、部材供給の不安や感染再拡大によりペースは鈍化

業界動向

- ・半導体不足やサプライチェーンの混乱を受け生産部門に影響
- ・設計開発フェーズは研究開発投資の維持により堅調

人材業界

派遣要請

- ・需要は底堅く推移
- ・在宅形式の派遣は継続

人材獲得競争

- ・求人数は年後半にかけて回復し、12月には前年比12.2%増加。主に製造業(34.6%増)や情報通信業(20.4%増)で需要回復

■ 2021年12月期 概要 -1-

- ・連結 営業利益の回復により最終利益は過去最高を更新
- ・個別 稼働率の回復に合わせて業績も回復

(単位：百万円)

【連結】	2020年12月期	2021年12月期	増減率
売上高	35,753	39,261	9.8%
営業利益	3,640	3,875	6.5%
経常利益	4,595	4,574	△0.5%
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,057	3,095	1.2%

【個別】	2020年12月期	2021年12月期	増減率
売上高	29,630	30,902	4.3%
営業利益	3,312	3,416	3.1%
経常利益	4,172	4,142	△0.7%
当期純利益	2,838	2,868	1.0%

■ 2021年12月期 概要 -2-

- ・売上高は前年同期比9.8%増
- ・当期純利益は前年同期比1.2%増

【連結】	2020年12月期	2021年12月期	増減率
売上高	35,753	39,261	9.8%
売上原価	27,289	30,322	11.1%
売上総利益	8,464	8,939	5.6%
販管費	4,823	5,063	5.0%
売上高販管費率	13.49%	12.90%	△ 0.6%
営業利益	3,640	3,875	6.5%
売上高営業利益率	10.18%	9.87%	△ 0.3%
営業外収益	1,023	957	△ 6.5%
営業外費用	67	258	280.5%
経常利益	4,595	4,574	△ 0.5%
特別利益	100	0	△ 99.8%
特別損失	109	57	△ 47.6%
税引前当期純利益	4,586	4,517	△ 1.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,057	3,095	1.2%
売上高当期純利益率	8.55%	7.88%	△ 0.67%

(単位:百万円)

売上原価

- ・技術者数の増加
- ・雇調金を雇用維持のために
技術者へ還元

営業利益

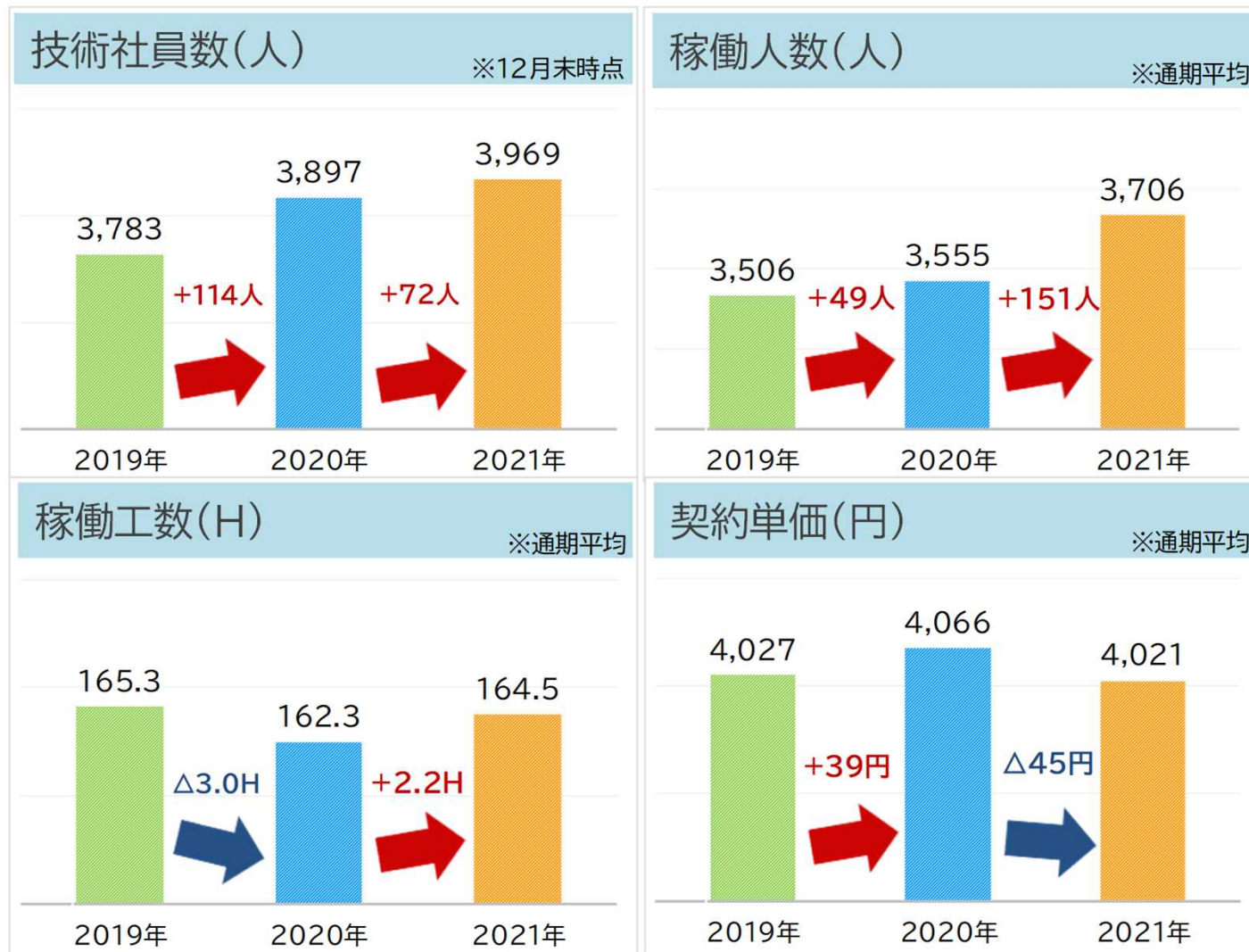
- ・稼働率の回復

当期純利益

- ・営業利益のプラス
- ・雇調金が営業外収益に加算

■ 2021年12月期 概要 -3-

・稼働工数、契約単価ともにコロナ以前と同水準へ

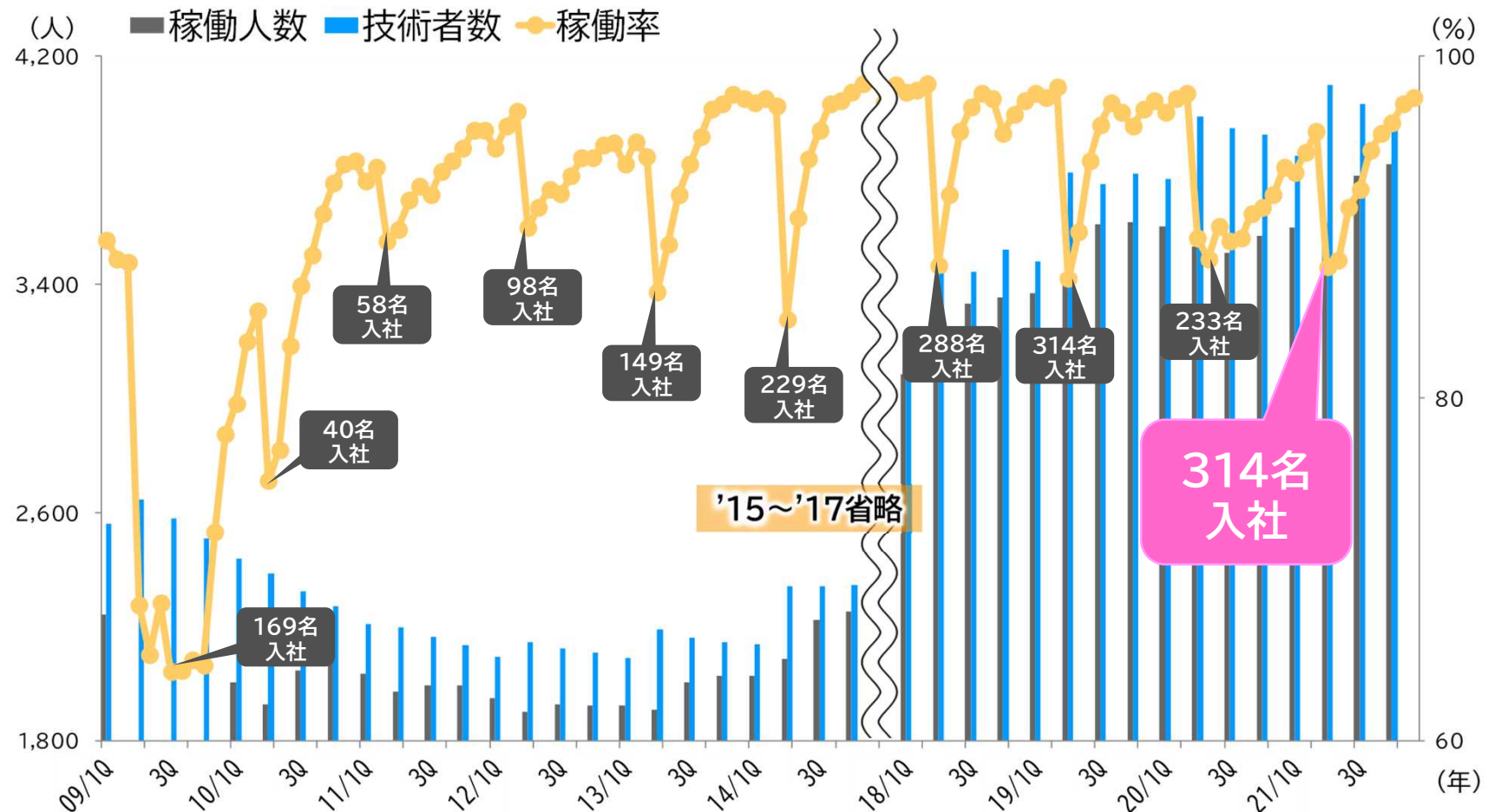


※契約単価・・・顧客との契約に基づく「1時間当たりの単価」。売上を構成する「実単価」とは異なり、残業代を含まない。

※稼働工数・・・技術者として業務に対応した「月当たりの実務時間」。

■ 2021年12月期 概要 -4-

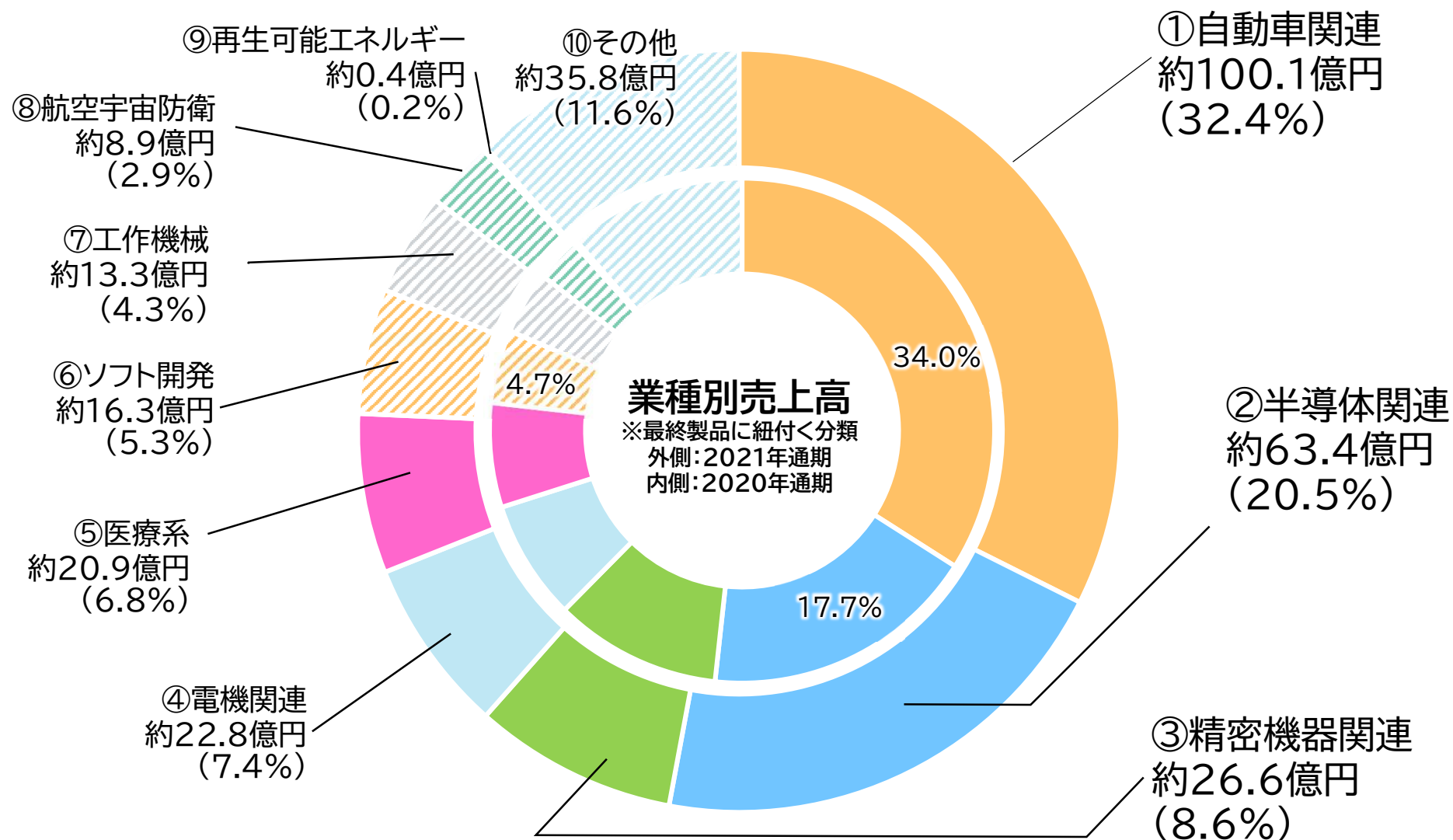
- ・人材の質をさらに重視した採用を継続
- ・稼働率はコロナ以前の水準近くまで回復



- ①稼働人数…四半期ごとの稼働人数 ②技術者数…四半期毎の技術者総数 ③稼働率…新卒を含む月当たりの全社稼働率
 ④グラフ内入社数…4月入社の新卒技術者数(キャリア採用・秋入社グローバルエンジニアは含まない)

2021年12月期 概要 -5-

- ・半導体関連やソフト開発関連が好調
- ・自動車関連は割合減るも、売上高は増加



■ 2021年12月期 概要 -6-

・売上上位10社

2019年度 通期	2020年度 通期	2021年度 通期
三菱電機	東京エレクトロン テクノロジーソリューションズ	東京エレクトロン テクノロジーソリューションズ
キオクシア	三菱電機	キオクシア
東京エレクトロン テクノロジーソリューションズ	キオクシア	三菱電機
アイシン・エイ・ダブリュ	東京エレクトロン宮城	東京エレクトロン宮城
日立オートモティブシステムズ	ソニーセミコンダクタ	ニコン
ソニーセミコンダクタ	ニコン	ソニーセミコンダクタ
東京エレクトロン宮城	ソニーLSIデザイン	東芝エネルギーシステムズ
キャノン	デンソーテン	日立Astemo
本田技術研究所	東芝エネルギーシステムズ	デンソーテン
デンソーテン	三菱重工業	日立ハイテク
上位10社比率 19.6%	上位10社比率 18.2%	上位10社比率 21.6%

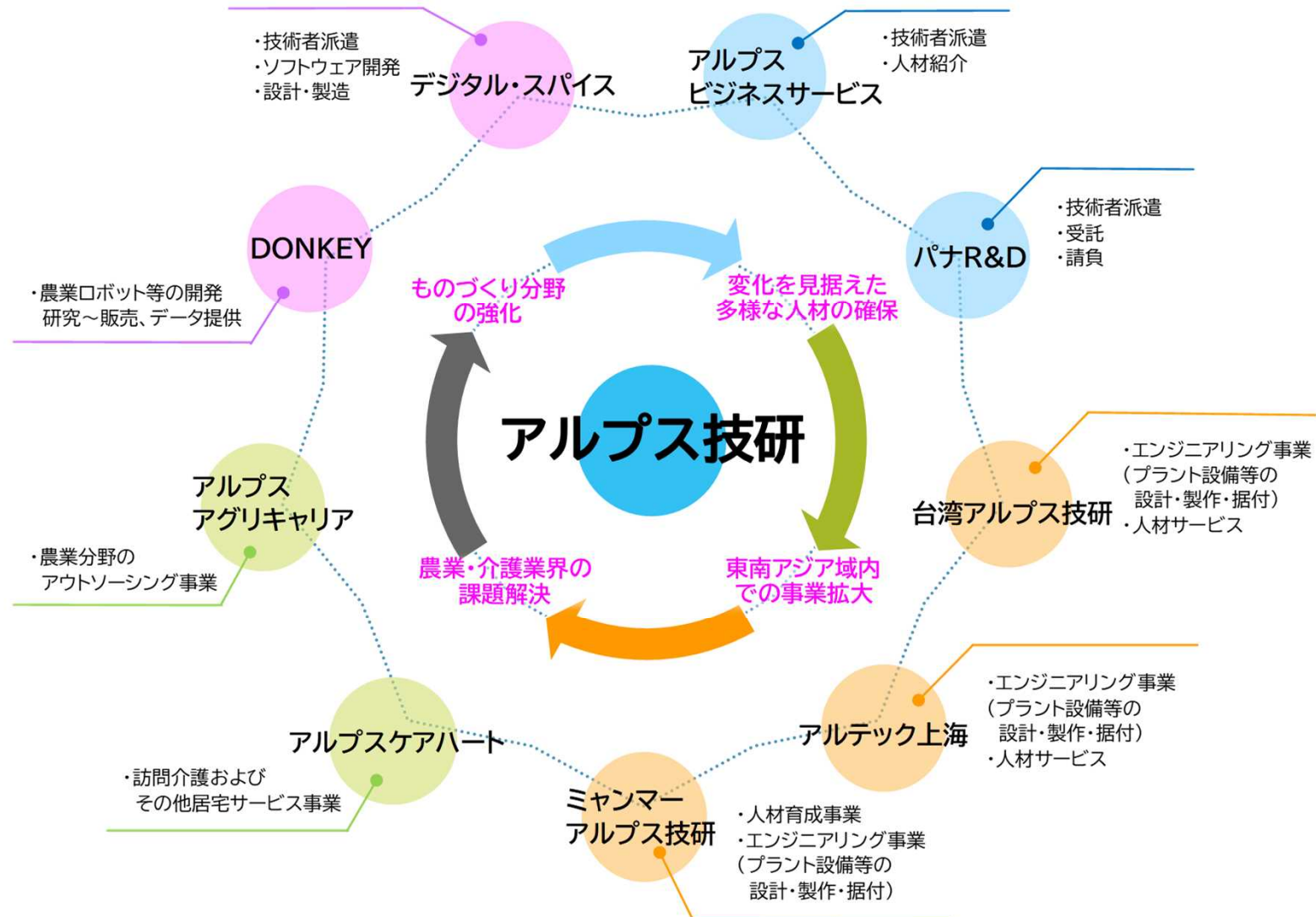
IoT/5G等の需要増加により半導体関連ニーズが堅調

※東芝グループの表記・・・東芝メモリ様は2019年通期以降、「キオクシア」様と表示

■ グループ会社・関連会社のご紹介ー連携図ー

・新たなグループ体制(くもの巣型ネットワーク組織)

新規グループ会社と既存事業との
シナジー高付加価値化



■ 次世代を創る施策

オーガニック成長

次世代への成長

当社

パナ
R&D

アルプス
ビジネス
サービス

デジタル・
スパイス
DONKEY

アルプス
アグリ
キャリア

アルプス
ケアハート

グローバル
事業

事業変化や社会的課題に対応した施策の推進

採用強化

高度人材による
サービス提供

人材ニーズ
に広く対応

自社製品の
拡大

外国人採用
育成推進

事業エリア
拡大

受注拡大

外国人材育成・採用

受託/ソフト
受注拡大

先端技術領域
の拡大

対応領域
の拡大

ものづくり
領域の拡大

外国人材活躍の
リーディング・
カンパニーへ

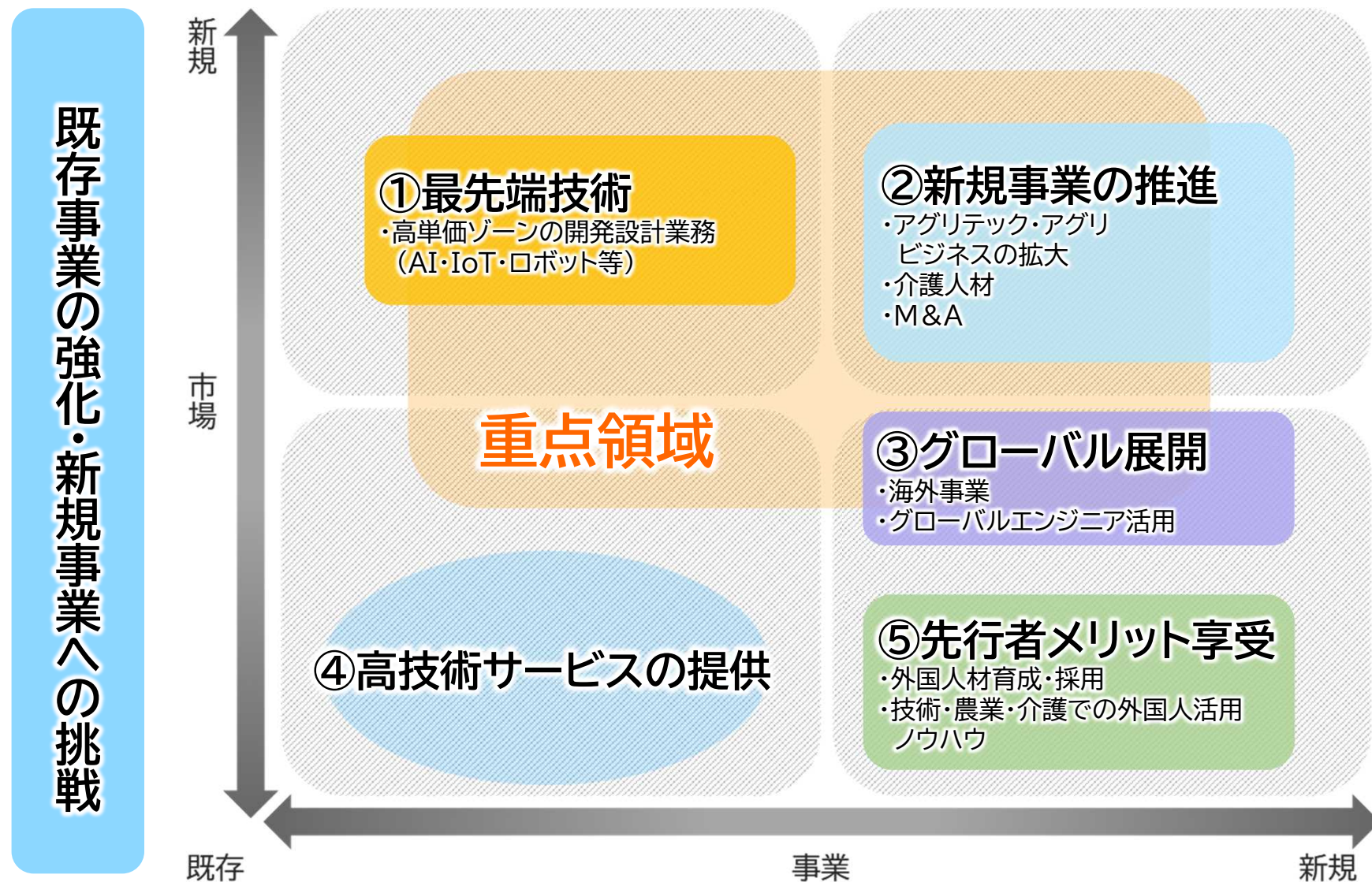
ITを融合し
介護を起点に
新たなインフ
ラを創出

エリア
拡大

グループ連携強化で持続的な成長を達成

■ 次世代を創る施策

・中長期成長ビジョン



■ 次世代を創る施策

・2022年度個別施策

成長を支える3本柱
〔採用・教育・営業〕の好循環

採用

- ①リファラル採用・グループ連携採用の強化
- ②エンゲージメントを高め、主体的に魅力を発信
- ③SNS等を活用し、採用ブランドを定着

達成目標

- '23新卒320名採用
- '22キャリア120名採用

教育

- ①オンラインを活用した自己啓発環境の改良
- ②研修や勉強会における社員間の連携を強化
- ③お客様から選ばれ続けるカスタマイズ研修

自律的なキャリアアップ、リスキリングを推進しサービスの質を高める

営業

- ①スピード感あるソリューション営業の強化
- ②先端技術や環境などの新領域開拓を加速
- ③教育と連携し、より成長できる分野へシフト

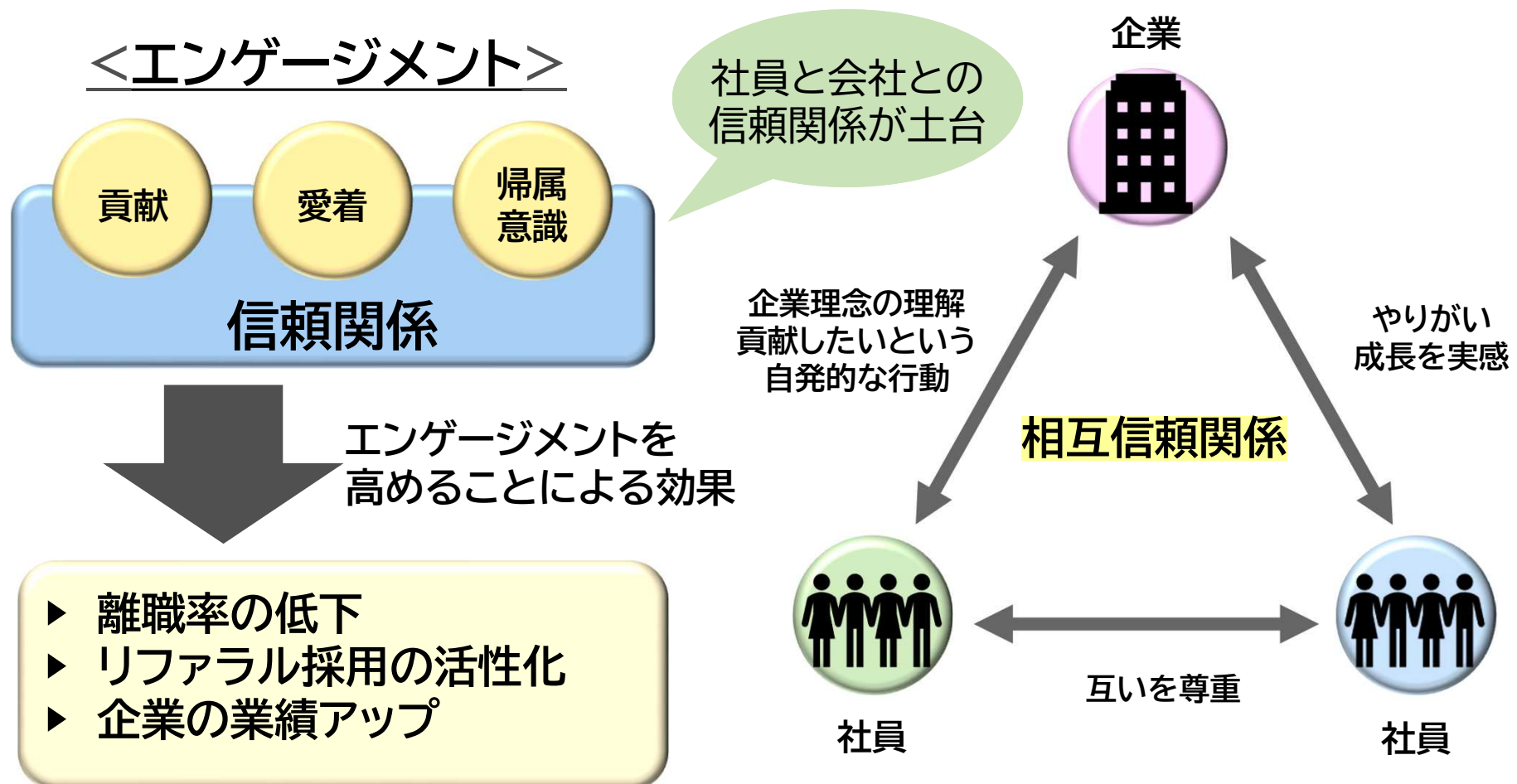
更なるスキル向上が可能な分野へシフトし、より高付加価値なサービス提供によるCSブランド向上

■ 次世代を創る施策-エンゲージメント向上の取り組み-

エンゲージメント ≠ 従業員満足度

⇒ 経営理念やビジョンに共感し、貢献したいと思い自発的に行動する

⇒ お互いに尊敬・信頼・感謝し合い、企業と社員が歩み寄ることで高める



■ 2022年度業績予想

連結：最高業績更新へ
稼働率の回復により営業利益の改善を見込む

(単位:百万円)

【連結】	実績			業績予想	
	2021年度通期			2022年度通期	
	2021年12月期 公表値(通期)	実績	公表比	金額	前期比
売上高	40,000	39,261	98.2%	42,500	8.2%
営業利益	4,000	3,875	96.9%	4,550	17.4%
経常利益	4,400	4,574	104.0%	4,590	0.3%
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,060	3,095	101.1%	3,120	0.8%

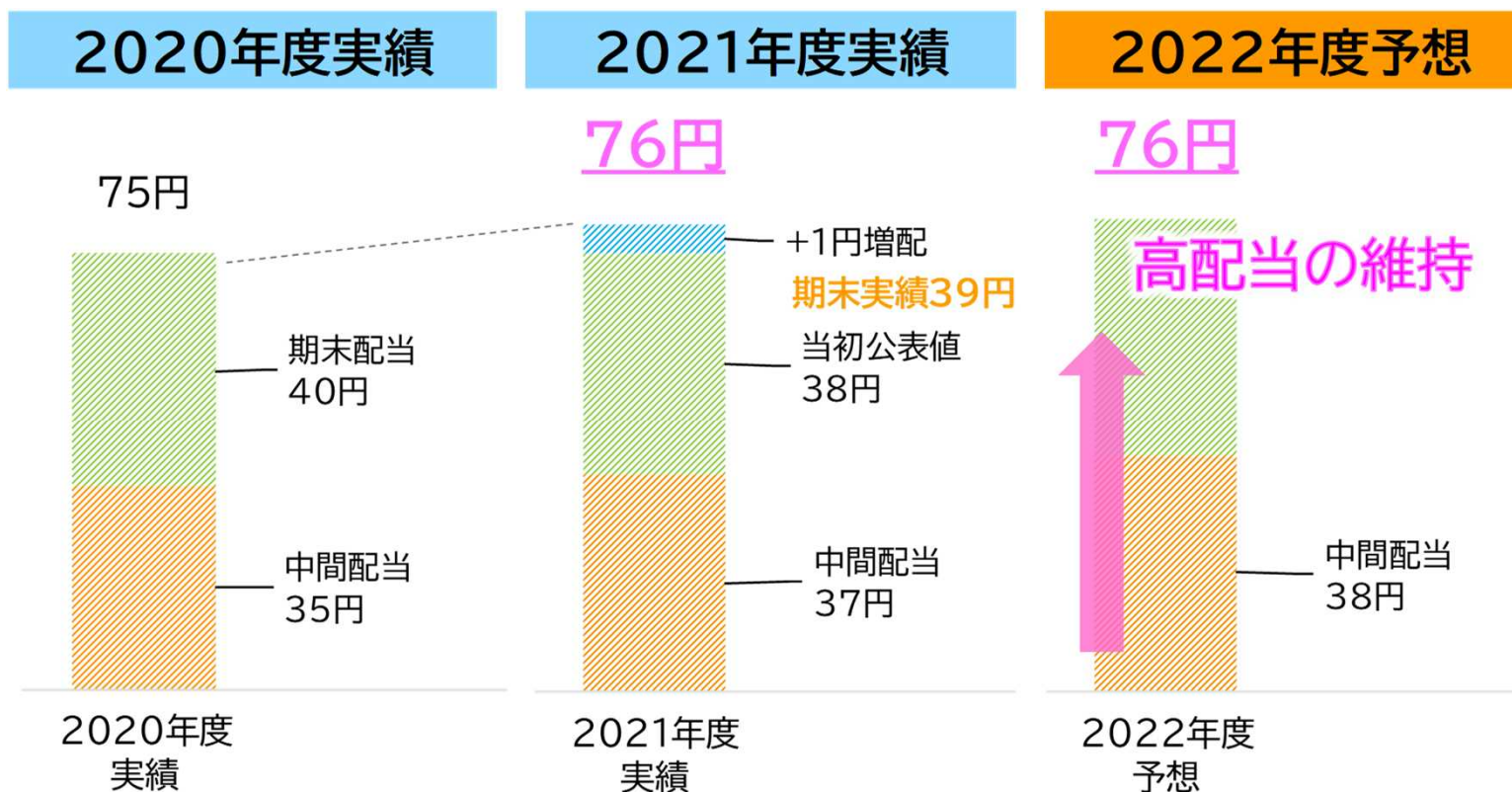
【個別】	実績			業績予想	
	2021年度通期			2022年度通期	
	2021年12月期 公表値(通期)	実績	公表比	金額	前期比
売上高	31,600	30,902	97.8%	32,700	5.8%
営業利益	3,500	3,416	97.6%	3,900	14.2%
経常利益	4,100	4,142	101.0%	4,170	0.7%
当期純利益	2,850	2,868	100.6%	2,880	0.4%

2022年度配当予想

・配当予想（2022年度年間配当金）

配当の基本方針

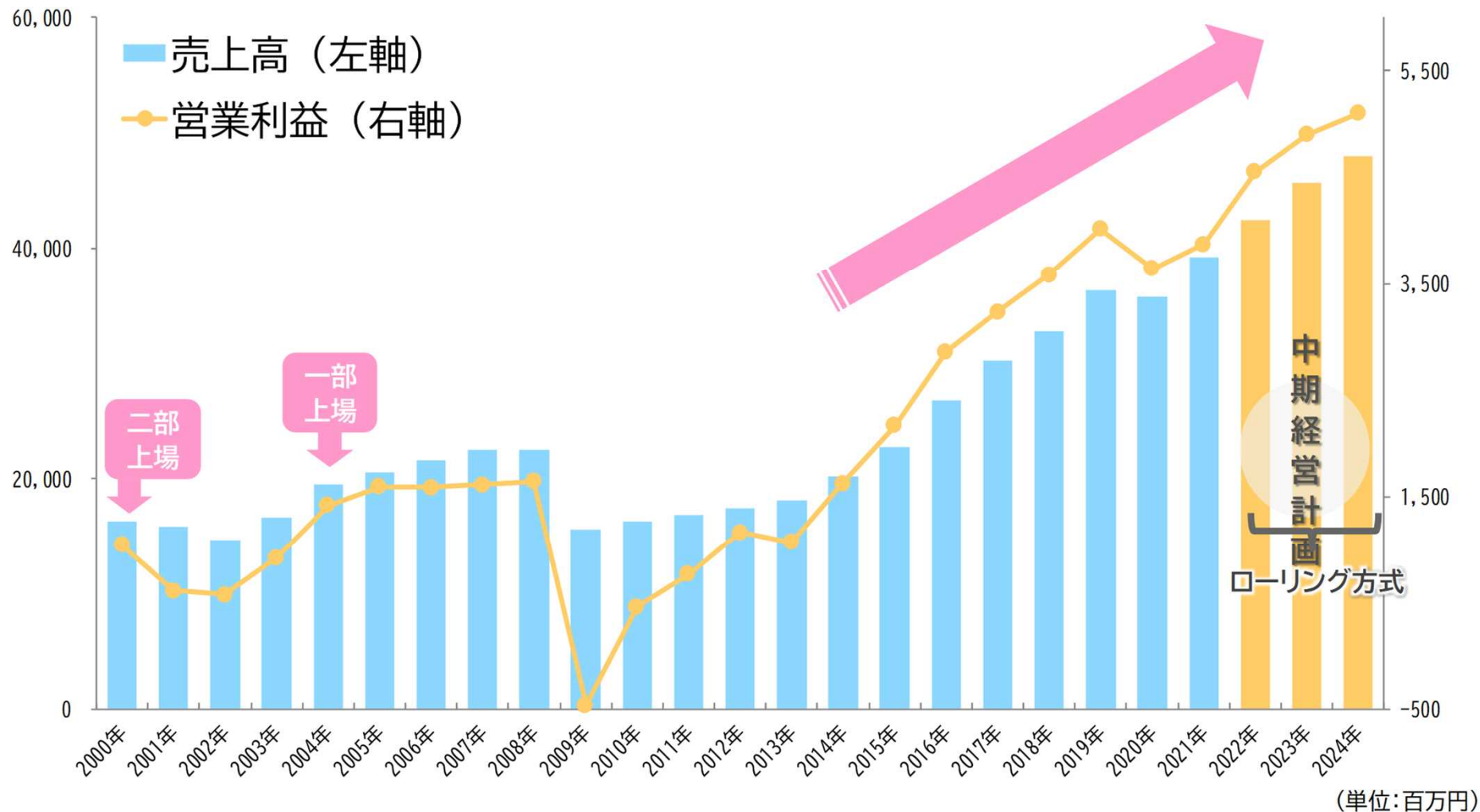
- ・連結ベースでの配当性向50%を基本とする
- ・中間配当金は年間配当金の50%を目処とする
- ・業績にかかわらず年間配当10円を維持する（安定配当の見地）



■ 新中期経営計画 -1-

・業績推移

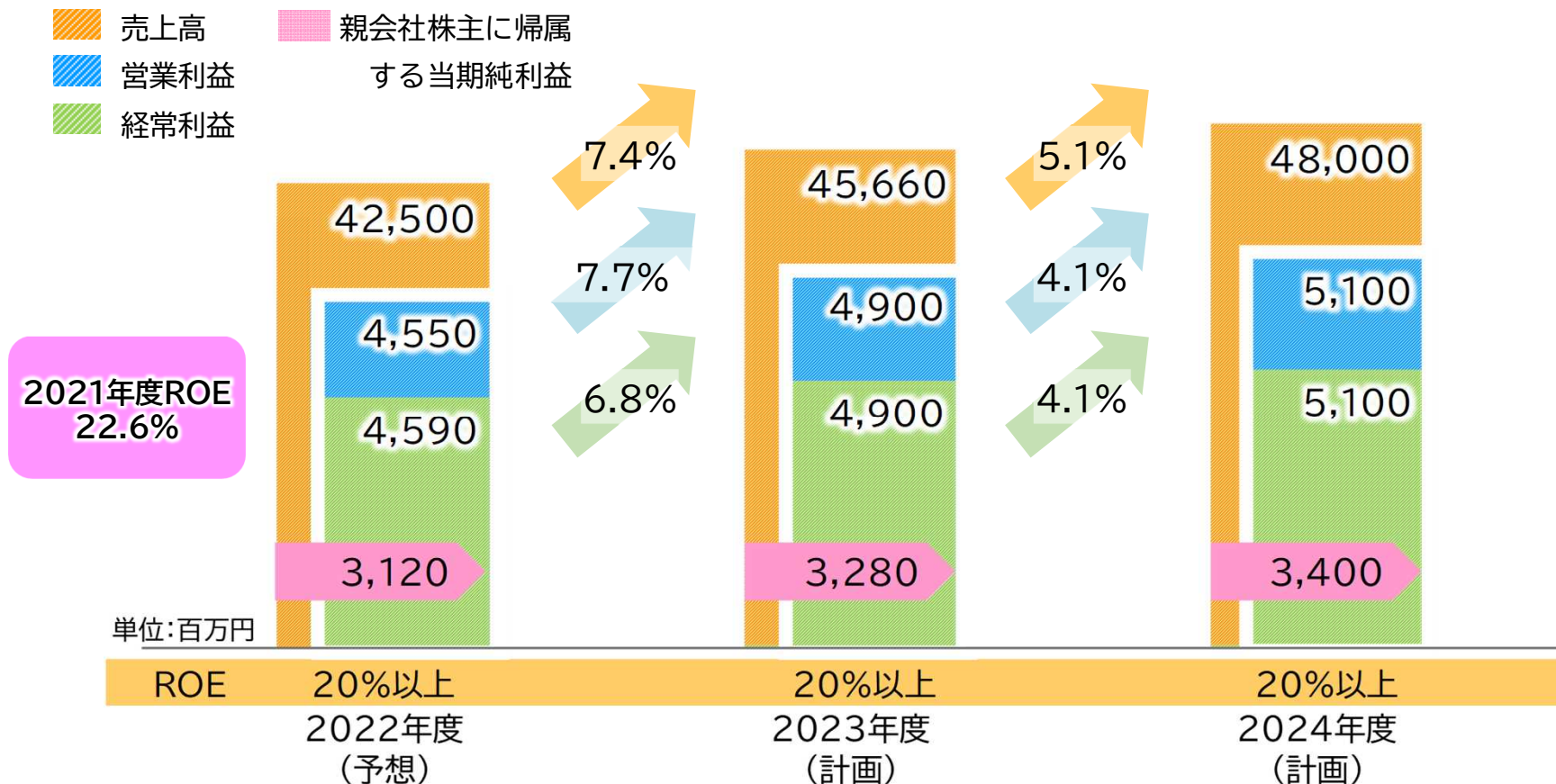
2022年度目標売上高:425億円



■ 新中期経営計画 -2-

・3カ年ごとのローリングプランを策定

持続的なイノベーション



※定量目標は第11次5カ年計画に基づき内容更新

■ 新中期経営計画 -3-

・第11次5カ年計画(2023年までにありたい姿)

定性目標:新産業革命時代に向けた経営資源の再投資

①アウトソーシング 市場における 持続可能な競争優位 性の創出

- ・ドメイン再構築による
売り上げ拡大と収益力
向上
- ・グループ連携による多
様な採用活動の拡大
- ・グローバル人材の雇用
拡大・育成強化
- ・他社と差別化された企
業ブランディング実行

②投資の拡大による 成長の加速と 収益基盤の強化

- ・農業・介護分野におけ
る新たな市場創出
- ・次世代技術を軸とした
資本・業務提携推進

③事業環境の変化に 対応した人材育成と 組織の最適化

- ・ITシステム投資にて高
水準の業務効率実現
- ・シニアや女性、障がい
者が活躍する環境整備
- ・技術と経営視点を持っ
た未来志向の人材教育

■ 新中期経営計画 -3-

・第11次5カ年計画(2023年までにありたい姿)

定性目標:新産業革命時代に向けた経営資源の再投資

①アウトソーシング
市場における
持続可能な競争優位
性の創出

- 売上高
2018年比 20%増
- グローバル人材
2018年より新たにアグリ
人材の採用を開始
- グループの全社員数
2018年比 21%増

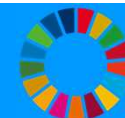
②投資の拡大による
成長の加速と
収益基盤の強化

- 2018年
(株)アグリ&ケア設立
現:(株)アルプスアグリキャリア
- 2020年
(株)DONKEY設立/
(株)デジタル・スパイス子会社化
- 2021年
(株)アルプスケアハート設立

③事業環境の変化に
対応した人材育成と
組織の最適化

- 先端技術への取組み
2018年にプロジェクトを
組成し、先端技術教育加速
- オンライン活用
自社内でスタジオを整備し、
採用・教育・営業の場で活用
- 管理職に占める女性の割合
2022年2月時点で4.6%
2018年比0.8%増

サステナビリティ・ESGの取り組み



ALPS×SDGs:SDGs推進企業として外務省HPに掲載

【社会変化への対応】

製造業のパートナー企業として、技術開発をはじめとしたサービスにより、社会・経済発展の一翼を担い、豊かな社会づくりに貢献し続けるため、社会変化にボーダレスで対応する企業のあり方を探求し続けていきます。



【社会的課題の解決】

技術分野の他、農業・介護分野においても国内外から多様な人材を採用し、外国籍人材の派遣をはじめとして、先進的な人材ニーズへの取り組みにより、日本の地域社会および海外諸国の発展に貢献していきます。



【環境・資源対策】

「地球環境の保全は全人類の最も重要な課題のひとつ」であることを認識し、率先して環境への負荷を低減する行動を行い、地球環境の保全と資源の保護に貢献していきます。



【健康経営】

従業員一人ひとりが心身ともに健康であることが、企業の発展に繋がると考えています。会社と従業員とその家族が一体となり、健康づくりを推進していきます。また、社会貢献活動を通じ、地域社会の健康づくりに貢献していきます。



【人材育成】

技術・農業・介護の現場では、適切なタイミングで専門技術を有する人材を確保することが重要となっています。お客様のニーズにお応えするため、高度技術だけでなく、ヒューマンスキルの向上にも重点を置いた社員教育体制を整備しています。



【倫理観・コンプライアンス】

「アルプス技研企業倫理憲章」をはじめとする「行動規範大綱」を制定し、企業理念、コンプライアンス等の様々な分野において役員および社員が守るべきルールを定め、定期的な教育等を通じて、リスクの低減と競争力の強化を図っています。



■ サステナビリティ・ESGの取り組み

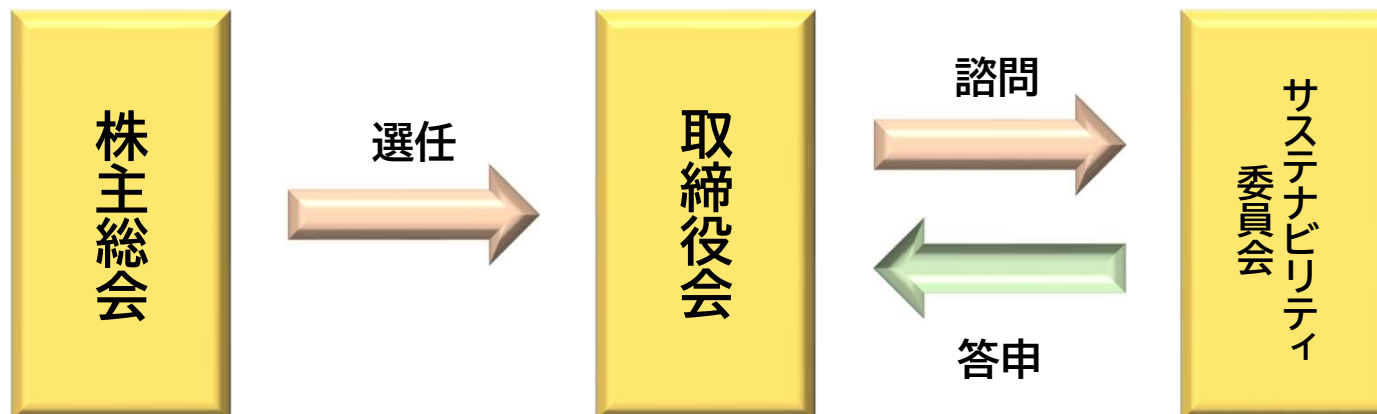
・2021年11月11日、基本方針制定、委員会設置

【サステナビリティ基本方針】

私たちアルプス技研グループは、経営理念「Heart to Heart」に基づき、人と人との心の繋がりを大切に、事業活動を通じて、持続可能な「環境」「社会」の実現と、持続的な企業価値の向上を目指します。

1. 高度で多様な技術サービスの提供により地球環境の保全に取り組みます
2. 経営資源である人材と技術力を活かし様々な社会課題の解決に取り組みます
3. 良き企業市民としてステークホルダーと協力し社会貢献活動に取り組みます

【サステナビリティ委員会の役割】



■ サステナビリティ・ESGの取り組み

企業版ふるさと納税：北海道大樹町

「大樹発！航空宇宙関連産業集積による 地域創生推進計画」へ寄附を実施

【概要】

事業内容

- 1) 航空公園機能拡充事業
- 2) 航空宇宙関連ビジネス推進事業

事業実施期間

2020年4月1日から2025年3月31日まで

地方
創生

【寄附に至る背景】

創業者松井による十勝での長年の起業家支援活動



宇宙のまちづくりの取組みにポテンシャルの高さを強く実感



航空宇宙事業は当社が注力している分野であり、地方創生や持続可能な社会の更なる実現を目指し、大樹町が進める事業の発展を支援する目的で実施



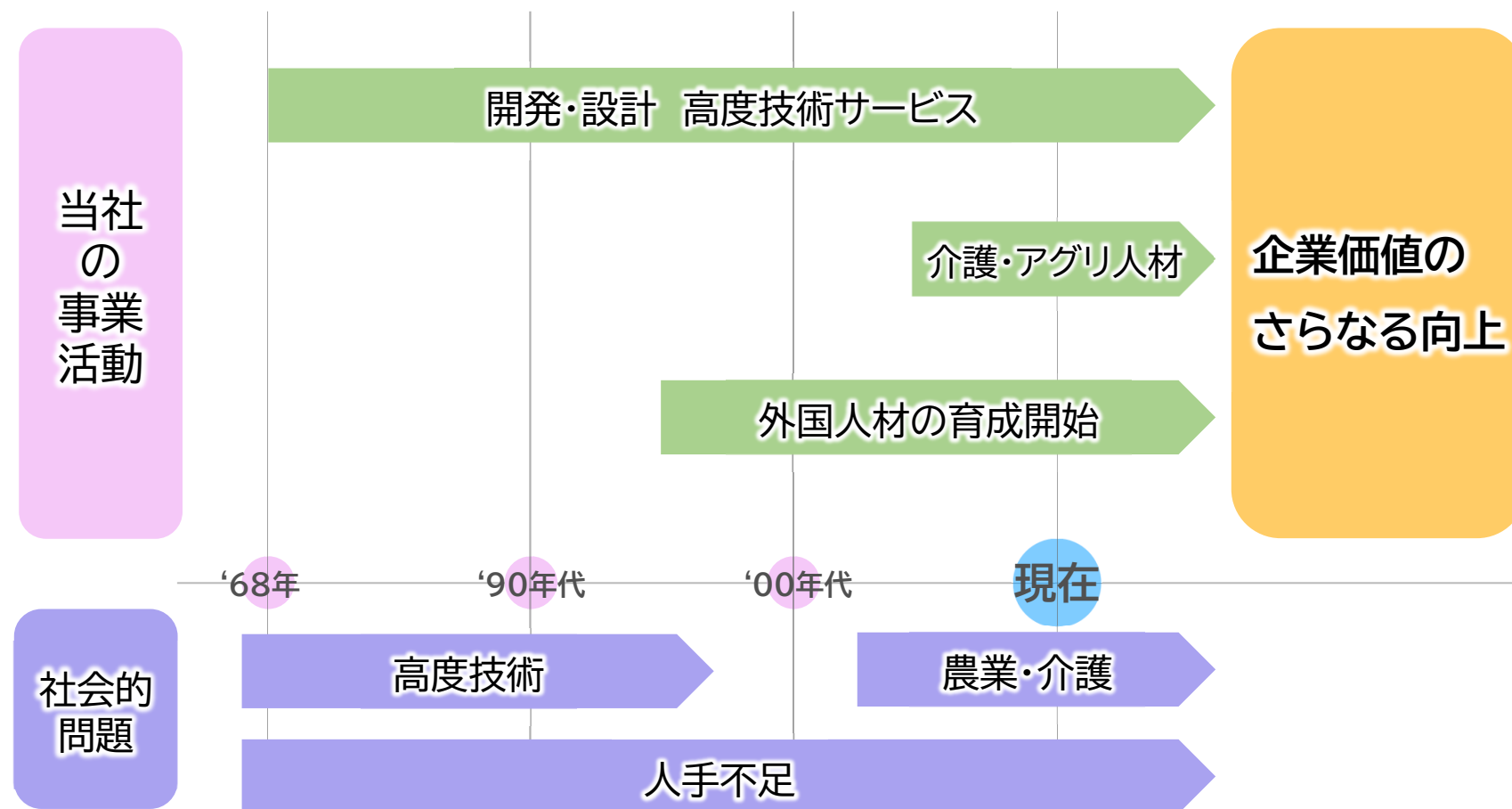
▶大樹町ホームページ

<https://www.town.taiki.hokkaido.jp/>

■ サステナビリティ・ESGの取り組み

ESG:事業活動を通じた社会的課題の解決

時代に先駆けたグローバル人材の活躍推進





当社公式キャラクター
アルスくん

人が未来—Next Technology Frontier®

Alps 株式会社アルプス技研

アルプス技研は引き続き、積極的に株主還元の充実を図ってまいります。

【免責事項】

本資料に記載されている業績予想、将来予測等は作成時点において入手可能な情報に基づく見通しであり、潜在的リスクや不確実性が内在しています。実際の業績は、経営環境や様々な要因の変化によって記述内容と大きく異なる可能性があります。